

2026年9月改訂

社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター あさしお園

大阪市発達障がい児専門療育機関

うきうき

〒552-0004
大阪市港区夕風2丁目5番3号

電話 06-6574-2521
(月～金 9:00 -17:00)

FAX 06-6574-2524

地下鉄中央線 朝潮橋駅
⑦番出口より徒歩5分



● 療育開始までの流れ



医療機関での診断

大阪市に利用登録申し込み

あさしお園「うきうき」についての説明会・契約

アンケートによる情報収集

個別面談・発達評価

児童発達支援計画の作成

療育開始

児童発達支援計画の再評価



- ・大阪市内に在住
- ・未就学（3歳から年中）のお子様
- ・医療機関で医師から「自閉スペクトラム症」と診断を受けた方 及び保護者の方



- ・療育：月2回程度
(月・火・水・金曜日の
9時15分～17時までの間の1時間)
- ・保護者研修
：受講必須。全10回、月1回土曜日に開催。

● ご利用について

- ・大阪市への利用登録申し込み及び受給者証の交付が必要です。
- ・支援費は国の幼児教育無償化制度の対象となります。
- ・保護者研修は、保護者のみ参加で、無料です。
- ・療育は、保護者同伴で 1年間継続が可能な方になります。
- ・専門療育利用期間は9月～翌年8月です。

● 療育目標

自閉スペクトラム症の理解と支援

保護者の方と共にお子様の発達特性を理解し、特性に配慮した暮らしができるように支援します。

支援方法のモデル提示

療育の中で個別の目標に合わせた具体的な支援方法のモデルを提示します。

個別評価と目標設定

療育場面で身につけたことを
日常生活の場へ広げていくことを目指します。

家庭、地域への応用

個別に丁寧に評価した上で、
保護者と共に支援プログラムを立案します。



● 主な療育内容

意思の伝達

好きな遊びなどお子様の動機づけが高い活動の中で、理解しやすい伝え方を工夫し、要求、拒否など自分の気持ちを相手に伝える方法が身につくよう支援します。



行動調整

見てわかる手がかり(実物やカード等)を使い、活動の見通しをもつこと、スムーズな場面の切り替え、ルールの理解などに取り組みます。



あそび

ひとと一緒にいることが楽しくなるあそび、また、ひとりでも 落ち着いてリラックスできるあそびなど、お子様にあったあそびを支援します。



自立課題

興味や関心のある遊びを探り、身体を使った活動や楽しみながら自分で取り組める課題のなかで「できた!」という達成感や自信を育てます。



身の自立

着替え、手洗い、排せつなど身の回りのことが少しずつ自分で出来るように支援します。



●あさしお園では、心理士・保育士・作業療法士・言語聴覚士などが支援にあたり、医師・看護師も常駐しています。

● 保護者研修について

お子様の発達や特性への理解を深め、家庭での関りや支援に役立つ知識や方法を学びます。

保護者同士の情報交換や交流を通して、子育ての悩みや工夫を共有する場にもなっています。



テーマ

- 第1回 オリエンテーション ～子ども達はどんな気持ち?～
- 第2回 自閉スペクトラム症の理解と子育て ～医学的視点から～
- 第3回 感覚について ～作業療法士より～
- 第4回 わかりやすい環境作り
- 第5回 望ましい行動を増やすために
- 第6回 望ましくない行動を減らすために
- 第7回 先輩保護者のお話
- 第8回 社会性の育ち ～みとおし・えらぶ・つたえあい～
- 第9回 子育ての考え方とかかわり方のポイント～ご家族向け～
- 第10回 ふりかえり

(講師の都合などで変更することがあります)

こどもと向き合う時間がつくれてよかったです。小学校へのステップに活かしていきたいと思います。



月に2回の療育でしたがとてもためになりました。子どもは落ち着いて療育を受け、話す言葉が増えました。保護者研修会では今まで知らなかったことが勉強でき、より深く自閉症や発達障害について知ることができました。